



藤本 みのる 通信

Vol 324

2019年9月2日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

岩殿山鏡岩の一部剥落から

剥落跡を見ると岩塊とは違う岩層が見られるため、『岩殿山の総合研究』（1998年、山梨県大月市岩殿山総合学術調査報告書）により岩殿山の地層を確認してみました。

岩殿山の中腹から山頂部は、今から 500～600 万年前に浅海に堆積した荒い砂や小石からなる岩殿山れき岩層から構成されており、その昔、大月市は笹子峠からこちらは海の下。当時、島だった伊豆島が移動してきて昔の日本列島と衝突。南北方向にしめつけられ隆起。岩殿山周辺には、断層という地殻の傷が無数に入っている。大月市の標高は 300m、岩殿山の標高は 634m。「南斜面は垂直の一枚岩絶壁をなしている小さな名山である」「れき岩層にそって大きなブロックとして滑落し、大岩壁を形作ったのである」（p168）と鏡岩（高さ 150m）について書かれており、れき岩層が長い年月に隆起して立ち上がり、風雨で洗われ現在の姿になったと推測されます。

岩殿山は年間 4.6 万人のハイカーが利用しています。調査や復旧など、県主導の速やかな対応が求められます。



岩殿山鏡岩の中心付近の剥落箇所



登山道の手すり 2 本をなぎ倒し

8月27日未明、岩殿山鏡岩の中心付近から岩塊（約12m×5m）が剥落し、登山道の一部を損傷。ドローンで撮影を行ったところ、不安定な塊や浮石と思われる部分が確認されたため、登山者の安全を考慮し、丸山公園から山頂までの登山道を通行止めになっている

【藤本みのる活動日誌】

- 8月30日(金) 大月市議会9月定例市議会開会(9月27日まで)
- 8月31日(土) 中央大学白門会打ち合わせ(10月19日中大白門寄席)
- 9月1日(日) 防災訓練(小篠区、消防団が可搬ポンプ送水訓練指導)